

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 小原 得雄 編集責任者 足立 聡 印刷所 東京印刷(株)

平成十年度 理事、監事並びに県出向推薦決定!

5月15日に鳥取県西部中小企業青年中央会臨時総会が開催され、次年度理事、監事、県出向推薦が以下の通り決定された。

理事



河端 謙治 会員



田川 廣美 会員



奥森 隆夫 会員



安藤 義人 会員



浜 義徳 会員



戸野 雅弘 会員



南 順三 会員



武海 章 会員



三嶋 雄司 会員



25周年特別委員会
畑中 経之 会員

県出向推薦



小林 慎一 会員



藤森 秀樹 会員



景川 恭次 会員



谷口 勉 会員



安部 利夫 会員



門脇 浩二 会員



浜田 一哉 会員

5月例会報告

5月15日（金）ホテルわこうにおいて、西部青年中央会臨時総会及び5月例会が、役員会担当により開催された。綱領唱和、小原会長挨拶の後、10名の新入会員に対して、バッジ授与式と各々抱負を語って頂いた。連絡・報告事項の後、引続き臨時総会が行われ、司会者より議長指名を受けた堀田副会長によって、議事が進行された。第一号議案の理事・監事・出向推薦の承認について、宮廻次年度会長より役員員の推薦があり、全員一致で承認された。次に、第二号議案の会則・規約一部改正承認について、小原会長より主旨の説明があり、こちらも全員一致で承認された。



続いて、今回の講演は第18期ご卒業の(株)フジシンクス社長、杉谷夫二郎OBによる「怒りの1ドル英会話実践講座」であった。

杉谷氏は「日本人は英語はダメ」という現状に嘆きと怒りを持ち、国際化がさらに進む21世紀を目の前にしてたまらず、この本を出版された。現在の英語教育はやればやる程、難しく、嫌いになるような仕組みになっている。非常に文学的な要素が強い、と一刀両断。発音を気にし過ぎる事をやめ、主語と動詞を強い声で堂々と喋る事の2点を強調された。また、英語の基本形は2つである。と明快そのもの。会員との英会話のやり取りも当意即妙。ユーモラスで笑い声の絶えない講演となった。次回の出版も今夏に予定されており、より実践的な内容となる模様。OBのエネルギー活動に脱帽。何事も遅いという事はない。と改めて教えて頂いた講演でもあった。

会則・規約改正

＝OBも推薦可能に！＝

5月例会においける臨時総会にて、会則・規約が一部改正されました。特に入会希望者の推薦者が、右記のようにOBも可能となりました。

年々会員数が減少しているなか、小原会長も会員拡大ということで24名の入会者を目標に活動されてきましたが、現在19名にとどまっております。

会員の皆様は勿論、これを機会にOBの皆様も、ぜひ多くの入会希望者を推薦していただきますようお願い致します。

規約 第1章

第1条 西部青年中央会の会員になろうとする者は、入会申込書に推薦書を添えて会長に提出しなければならない。

2. 前項の推薦者は会員または卒会者から2名とし、そのうち1名は会員とする。ただし会員については、入会1年以上経過したものでなければならない。

県青中ゴルフ大会

◀ 上位独占!! ▶



去る5月13日(水)、倉吉インターヒルズゴルフクラブにおいて平成9年度の鳥取県中小企業青年中央会ゴルフ大会が開催された。

前日のどしゃ降りから天気は回復し、東中西から集まった総勢41名のつわものたちが腕を競った。

アップダウンの激しいコースで、多くの名(?)ゴルファーたちがスコアメイクに苦しんだ。ドライバーで豪快に飛ばせないかわりに、OBの憂き目を見ずに済んだのかもしれない。アイアンで刻んでいく繊細さをもってコースを制したのは、芥屋三千夫会員。さらに個人の部で6位までを西部のメンバーで独占、もちろん総合優勝もぶっちぎりでモノにした。前年度の個人優勝(阿部信行第21期会長)プラス総合優勝に続いての2年連続の快挙である。来年からの東中の追撃もあろうが、西部の会員としてはさらに記録を伸ばしてほしいものである。

優勝した芥屋会員、実は15年前の入会直後にも県のゴルフ大会に出場、初参加で見事に初優勝を成し遂げている『秘密兵器』だったのである。最後に本人の談話を「恥かしながら、優勝してしまいました。」



順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット
1位	茶屋 三千夫	97	26.40	70.60
2位	北野 実	90	16.00	72.00
3位	奥森 隆夫	86	13.20	72.80
4位	藤森 秀樹	87	13.20	73.80
5位	景川 恭次	102	27.60	74.40
6位	渡部 光典	93	18.00	75.00
7位	安藤 充勉	94	16.80	77.20
8位	小椋 博之	100	22.80	77.20
9位	小谷 敏明	101	22.80	76.20
10位	山下 卓治	94	15.60	78.40

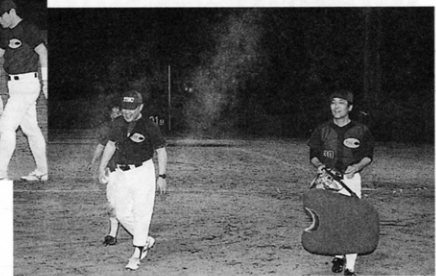
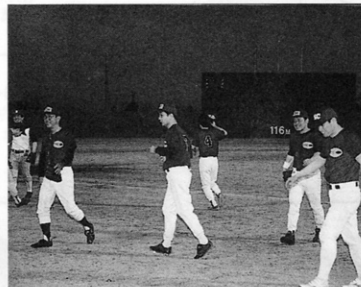
野球部 最近の活躍! 結果報告

①日成工業

7-2 ● 石指→岩田継投

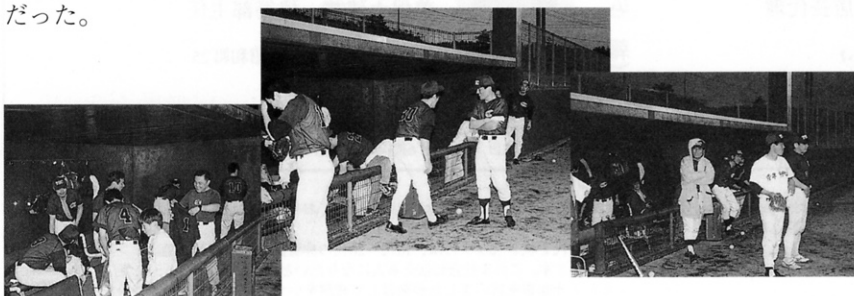
②小谷医院壮年チーム(市民球場)

3-2 ● 中島 完投



○月△日 ○×球場に日成工業を迎えて先発石指会員のド真中ストレートで試合が始まる。相手打戦の猛打に2点先行され厳しい状況の中緊迫した試合展開となり中盤2点を入れ追いついたものの、終盤5点をとられ7-2で惜敗、石指会員を継投した岩田会員も絶好調でナイスピッチングだった。

5月17日、米子市民球場にて、小谷医院壮年チームを迎えて熱き戦いが繰り広げられた。先発の中島会員が7回を完投。初回に2点をとられたもののすぐに同点に追いつきムードは勝ちムード。しかし終盤に連打されとうとう3-2で惜敗。



5月度委員会報告

政治行政委員会

平成10年5月7日(木) 於:米子食品会館 出席者/9名
内容/委員会活動のまとめを行いました。

米子市財政と崎津工業団地の問題について委員会の各メンバーの意見交換をしました。

JRAウインズ誘致に関しては各人、個人的に賛成、反対の意見があつて当然ではありますが、いずれにせよ手つかずのままでは、もっと深刻な問題なのではないだろうか。引き続き今後の動きには注目していきたいと思ひます。

社会プロブレム委員会

平成10年5月20日(水) 於:米子食品会館 出席者/11名
内容/予定講師の方の急病のため、会員であり崎津在住の安藤さんにJRA八幡ウインズのお話を伺つた。

6月23日、24日にJRA八幡ウインズに視察研修旅行へ出発するための予備勉強になった。旅行の日程等、細かい説明なども行つた。

地域ビジョン委員会

平成10年5月11日(月) 於:米子食品会館 出席者/10名
内容/合併問題についてのシュミレーションの作成

委員長より、収集したデータを元にして作成されたシュミレーションの原案が提示され、それをたたき台に話し合いが進められた。また、シュミレーションの作成についてアドバイスを頂くため、今月鳥取県庁振興課を訪問することも決定した。

経営委員会

平成10年5月13日(水) 於:大連 出席者/11名
演題/1. 6月に研修委員会の打ち合せ

1. 演題「平成9年度委員会活動を振り返って」

上記のテーマで各委員に3~5分間程度のスピーチをしてもらい一年間の委員会活動の反省や勉強になった事などを発表して中央会活動を通して、各自が得られた体験をいかに活かしていくかといった事を話し合つた。

情報メディア委員会

平成10年5月11日(月) 於:翠明荘 出席者/9名
内容/業務概要と現在の問題点及び将来像パート2

委員会の各メンバーが自社について発表し、その質疑応答が行なわれ実際に個人個人が会社でどのような業務に携わり問題をかかえ、どのような将来ビジョンをもっているかを語り、それに対しての意見をのべ合つた。

金融委員会

平成10年5月11日(月) 於:ホテルサンルート米子 出席者/9名
内容/今月の委員会は、この一年間を振り返つてのまとめを行ないました。各自がそれぞれの視点より「金融ビッグバン」と一年間の感想を述べて閉会しました。タイムリーなテーマで当初手さぐりの委員会でしたが、各自がこの問題をそれぞれの業界より考えることができ、今後も関心を持ち続けることが出来るようになったようです。

広報委員会

平成10年5月8日(金) 於:米子食品会館 出席者/16名
内容/6月、7月 ハンサムの編集について

総務委員会

平成10年5月14日(木) 於:岩崎館 出席者/19名
内容/・4月例会反省及び打上げ

・新入会員歓迎会

21地球委員会の皆さんと合同での打上げとなり、新入会員の美声(?)ありと深夜まで盛り上がった。

21地球委員会

平成10年5月8日(金) 於:美保土建(株) 出席者/11名
内容/1年間の委員会活動を振り返りながら各メンバーの思いを語り合つた。「環境問題への見識を深めることにより、従来のものの見方や考え方が変わった。」「環境問題に対する取組を会や個人レベルでもっと広げていったらどうか。」などの建設的な意見が続出し、今年始めて新設された委員会にもかわらず、その存在感と内容の濃さを最後になって改めて実感した。メンバー全員の充実感がひしひしと伝わってくるようなまとめの委員会だった。

トライアスロンスタッフ決定!

(敬称略)

◆ボランティア部

部長:原田比登志

南・岡本・大野木・樋口・柴田・夏山・荒木・角・加藤・前田・柴谷・清水(鉦一)・畑中・森下(OB)

◆マラソン部

部長:景 幹雄

足立(徹)・田中(康裕)・高橋・金山・志田・後藤・安藤・水・小椋・木美・岩崎(俊和)・角田・久古・種

トライアスロン大会当日(7月19日)は、スタッフは元より、**全会員が一日拘束**となり、河端エードステーションでは土井副会長、境港エードステーションでは堀田副会長の指示にそれぞれ従うこととなります。また、すでに大会当日に向けて準備が始まっています。左記スタッフ以外にも、新入会員の皆さんを中心に、お手伝いをお願いすることがあると思いますが、その節は快くお引き受けください。

一般ボランティアもまだまだ不足しています。個人で、あるいは会社・グループ等で参加できる方は、原田会員の方までご連絡ください。(メ切:6月10日)